

CS こひつじ科礼拝式次第

2023年1月22日 午前9時30分

2023年度年間テーマ：「主イエスの教えに聞き従うものになろう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

3、きよいあさあけて（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ マタイによる福音書5章3～12節

「心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。悲しむ人々は、幸いである、その人たちは慰められる。柔和な人々は、幸いである、その人たちは地を受け継ぐ。義に飢え乾く人々は、幸いである、その人たちは満たされる。憐れみ深い人々は、幸いである、その人たちは憐れみを受ける。心の清い人々は、幸いである、その人たちは神を見る。平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。義のために迫害される人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。わたしのためののしられ、迫害され、身に覚えがないことであらゆる悪口を浴びせられるとき、あなたがたは幸いである。喜びなさい。大いに喜びなさい。天には大きな報いがある。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。」

おはなしとおいのり 「イエスさまを迎える幸い」 狩野照乃先生

おはようございます。お正月が終わり、普段の生活が戻ってきました。2種類のウイルスが猛威を振っています。ちょっとした怪我や病気が、大事に至ることのないように、早めの処置を心掛けたいですね。

今日の聖書箇所は、イエスさまが山に登られて大勢の人々に教えられたときの御言葉です。もう一度この箇所を読んでみましょう。

皆さんはどのように感じましたか。私たちの考えからすると、このような人々は、とても幸せとは思えない人々も含まれているのではないのでしょうか。たとえば悲しむ人々は幸せでしょうか。反対に不幸ではないのでしょうか。また、義のために迫害されること、つまり神さまを信じて正しく生きようとしたために、いじめられることも幸せではなく、不幸ではないのでしょうか。けれどもイエスさまは「幸いである」と語られました。いったい何故なのでしょう。

最初の「心の貧しい人々は、幸いである」という御言葉に注目してみましょう。「貧しい」とは何も持っていない、空っぽの状態であるということです。私たちの心の中が空っぽの状態になれば、イエスさまを心の中にお迎えすることができます。けれども、心の中がいろいろな物事で詰まっていると、イエスさまをお迎えすることはできません。ですから、そのためには心の中が空っぽである必要があります。つまり、私たちの心の中にイエスさまをお迎えして、共に生きていく人こそ幸いであるということなのです。イエスさまを心の中にお迎えした人にとっては、悲しむことも幸せです。イエスさまが慰めてくださるからです。飢え渴くことも幸せです。イエスさまが満たしてくださるからです。迫害されることも幸せです。イエスさまが守ってくださるからです。イエスさまはどのような貧しさも、悲しみも、苦しきも、試練も、すべて喜びと幸せに変えてくださるのです。

「心の貧しい人々」「悲しむ人々」「柔和な人々」「義に飢え渴く人々」「憐れみ深い人々」「心の清い人々」「平和を実現する人々」「義のために迫害される人々」これらの人々について、イエスさまは「幸いであ

る」と仰いました。1度だけではなく何度も「幸いである」と仰いました。これらの人々はなんと幸いなことでしょう。天の国はその人たちのものなのですから。ここに天の国の幸いがあります。

イエスさまはここで天の国について語られたのです。この世の人々が考える天の国と、イエスさまが教えてくださった天の国とは違っているようです。天の国とはイエスさまが私たちと共にいてくださる場所をいいます。イエスさまを心にお迎えするなら、天の国は今すでに私たちのものなのです。

お祈り：憐れみ深い神さま、今週も御言葉を学ぶときを与えてくださり感謝します。主は私たちに御国の福音を宣べ伝え、また、多くの人々の病気や患いを癒してくださいました。私たちは、自慢せず、高ぶらず、心を空っぽの状態にして主をお迎えすることができますように。今週も神さまにすべてを委ねて、お互いを思いやり、喜びの中で、主と共に歩いていくことができますように。私たちの救い主イエスさまのお名前を通してお祈りします。アーメン。

※ 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

32、こどもを まねく (こどもさんびかをお用ください)